

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
インテリアデザイン実習 3											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	日神山 晃一/岡本 浩			実務経験	有	職種	インテリアデザイナー/建築家				
担当教員紹介											
日神山：店舗設計施工会社（株式会社船場・株式会社丹青社）デザイナーとしての経験を経て独立。飲食店・理美容・物販店等。200店舗以上の設計デザインを手がけている。／岡本：建築士資格取得者として建築設計事務所を主宰しており、2次元及び3次元C A Dを用いた製図、プレゼンテーションを実務において自ら実践している。また、インテリアコーディネーターの称号を取得しており、住宅建築の設計と共にインテリアのデザイン・コーディネートも提供している。											
授業概要											
1～10回：実際に課題制作を通して表現特性について学び、ショップデザインを組み立てる為の具体的なプロセス・手法を修得します。2年次で修得したスキルを使い、ショップデザインの実践学習を通じて実際の仕事の内容を学ぶ。各自スケジュールをたて、テーマに沿ったコンセプトやイメージを立案、プラン・スケッチ・模型等、制作の中で空間構成の把握と、全体の組み立て方、プレゼンテーションの手法までを体得する。11～20回：CAD・CGソフト（VectorWorks、Photoshop、Illustrator）を使ってインテリアの企画力、デザイン発想力を実現するための、デジタルプレゼンテーション技術を磨く。3年次に続き、上記ソフトの応用発展的な知識、及び技術を習得する。自由自在に自分のアイデアを表現する高度なプレゼンテーション技術をつけることが目標である。デザイナーとして必要な素養を身につけることとなる。											
到達目標											
1～10回：課題条件、与える資料やスケジュールは最低限。自分でスケジュールを考えて最終プレゼンまでの工程を掴み、プレゼンに臨む。①課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。②他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。③インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。④スケッチ・パース・模型等の制作ができ、他者に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。11～20回：デザインソフト（Ps,Ai,VW）の応用発展的な知識、及び技術を使用し、産学連携課題やコンペティション等において高度な企画力、デザイン発想力のプレゼンテーションができるようになる。											
授業方法											
1～10回：本人主体で課題に取り組む実務を想定したワークフローで進め、2年次につけた知識・技術をさらに難易度を上げて取り組む。課題を通して、デザイン提案に必要な表現技法である各種図面、スケッチ、パース、模型の技術を上げる。〈成果物・提出物 A 2プレゼンボード（最大4枚）表現方法自由〉11～20回：習得した技量をさらに向上させます。CAD・CGのデザインツールであるVectorWorks、Adobe Illustrator・Photoshop を使って、アイデアをよりリアルにわかりやすく表現できる手法の応用となる。											
成績評価方法											
プレゼン課題完成度	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
リサーチ	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
材用・道具については、必要時に指示をする 資料は必要時に配布する											
回数	授業計画										
第1回	条件設定／テーマ・コンセプト／【コンセプトショップ計画】 高輪ゲートウェイ駅ビル内区画・コンセプト策定										
第2回	プランニング／コンセプト作成・エスキースプラン作成										
第3回	プランニング／エスキースプラン提出・チェック・エスキーススケッチ作成										
第4回	図面作成／平面図作成										
第5回	その他表現手法／スケッチ・パース／平面図・展開図・スケッチ作成・マテリアル検討										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
インテリアデザイン実習 3	
第6回	講評／中間発表（コンセプト・平面・スケッチ等、計画内容がわかるものを出す）
第7回	図面作成／平面図・展開図・スケッチ作成修正・マテリアル検討
第8回	その他表現手法／模型作成、写真撮影、プレゼンボード作成
第9回	プレゼンテーション／ボードレイアウト仕上げ
第10回	講評／プレゼンテーション
第11回	授業内容説明／ガイダンス 授業心得、課題説明、テーマ設定と企画書の作成
第12回	課題『住居のインテリアデザイン』／エスキスの開始
第13回	VectorWorks の2D実践編／2 Dデータ（各階平面図）の作成開始
第14回	VectorWorks の2D実践編／2 Dデータ（各階平面図）の作成・仕上
第15回	VectorWorks の3D実践編／空間3 Dモデル（主要室インテリア）の作成
第16回	VectorWorks の3D実践編／家具3 Dモデル（主要室インテリア）のテクスチャマッピング
第17回	VectorWorks の3D実践編／空間3 Dモデル（主要室インテリア）の光源配置・仕上げ 3 Dモデル（主要室インテリア）からのCG取り出し
第18回	Photoshop の実践編・Illustratorの実践・総合編 /プレゼンボードの作成・仕上
第19回	Photoshop の実践編・Illustratorの実践・総合編 /プレゼンボードの作成・仕上
第20回	講評／プレゼンテーション